

貧酸素水塊速報 (2018年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 神奈川県水産技術センター
 千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 東京都環境局
 ○ (国) 国立環境研究所
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成30年11月5～6日観測結果

貧酸素水塊は内湾北部東部に分布しています(図1)。貧酸素水塊の分布域が東側に偏っているため、縦断ライン上では貧酸素水塊が解消したように見えています(図2, 3)。しかし、千葉～市原沖の一部では強く貧酸素化した海域も認められることから、まだしばらくはこの水塊の動きに注意が必要です。

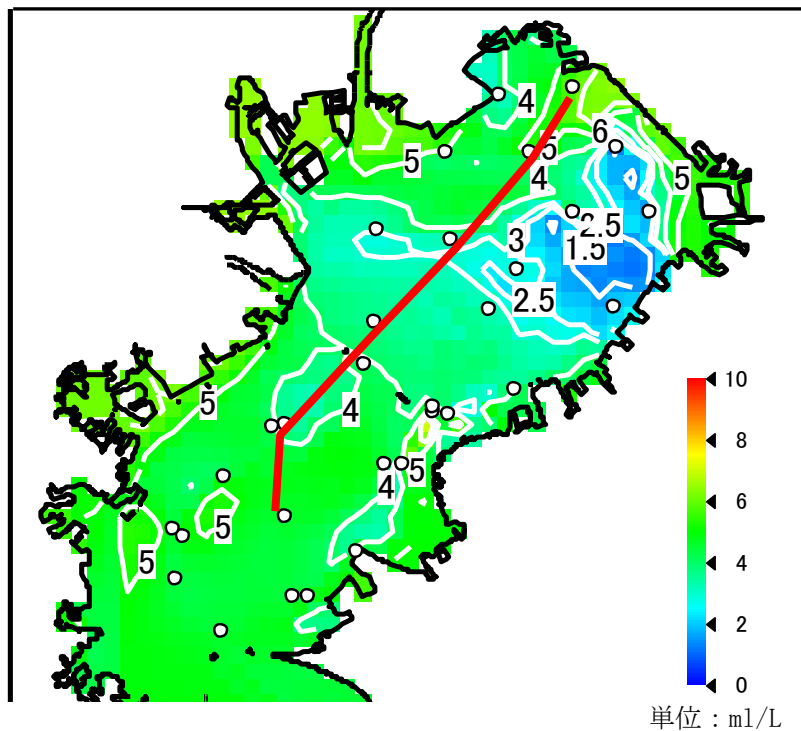


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

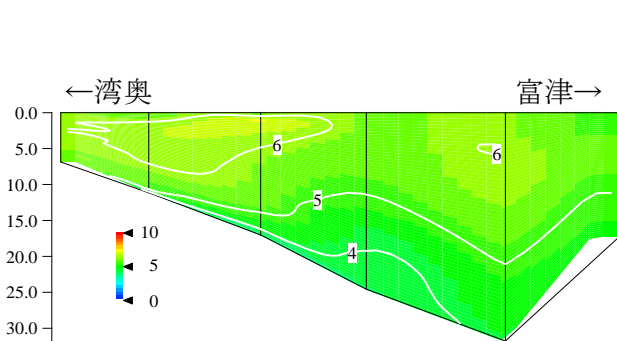


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

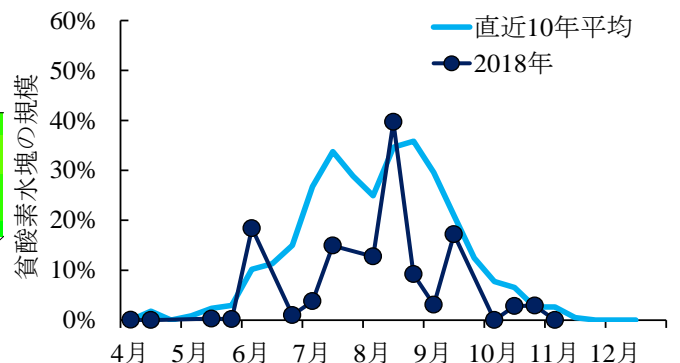


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)